

## 活動エピソード

音楽の活動では打楽器などの楽器を子どもたちに持ってもらい、一斉に大きな音を出して演奏を楽しむことがよくあります。好きな歌をいっぱい大きな音を出して合唱することも。版画をする時は木槌で力を入れて叩いて版を作る工程があり、ものすごい音をたてます。また、廃材を使ったクラフトや手作りワークショップでは、思いっきり手を汚して創造力を爆発させます。これらはすべて病棟内プレイルームで行なう活動で、医療スタッフの理解なしでは実施不可能です。それどころか、子どもたちが楽しんでいるかぎり、子どもたちの様子を微笑ましそに見守ってくださいます。治療や処置をなるべく後回しにして、楽しい時間を優先する医療者の方々には感謝するばかりです。これまで積み重ねてきたことが、病院との信頼関係に繋がったことを実感します。気兼ねなく発散できる雰囲気は、閉鎖的な空間で生活する子どもたちにとって、思いっきり音を出し、創造力を駆り立て夢中になれる、貴重な時間です。

「子どもたちとアーティストたちはすっかり打ち解けて、一緒にわいわい賑やか。その様子を温かく見守る医療スタッフがいる。騒音も待つことも平気。時には医師や看護師さんたちも仕事の手を休めて活動に参加」

これがいつもの風景です。

必ず一緒に参加するご家族もいます。お母様だけの参加もあり。子どもがお昼寝してしまうと「チャンス！」とばかりにクラフトに精を出すお母様もたくさん。付き添いに疲れてしまっているお母様にはひとときの気分転換が必要です。

「こんな間近で本格的な演奏。入院もしてみるものだね」という感想をくださるお母様、閉め切った扉の中での個室コンサートでは、涙を流しながら鑑賞して下さるお母様…。入院中はじめてピアノに触れ、ブルースのリズム伴奏に合わせてノリノリの男子、音楽に目覚めた瞬間でした。好きなアーティストの時は他の子の個室訪問に椅子を持って“おっかけ”、各病室の外でピアノ演奏と歌を楽しむ男子。

気持ちが沈んで立ち上がることも拒否していた幼児さん。音楽の演奏を聴いているうちにベッドの柵につかまって膝を屈伸しながらいつのまにかリズムをとりはじめ、医療者をびっくりさせたこともありました。

簡単なマジックを教わって「練習して退院したら友達に見せるんだ！」と張り切る子どもたち。将来の夢を聞いて実現した時の姿を描いたり、好きな色や遊びなどをじっくり聞き取って似顔絵に仕立てるアーティストの様子に、親御さんは「今までそこまで我が子を理解しようとしていなかった。はっとして涙が出た」と話していたこともありました。

今まであった数々のエピソードのいくつかを紹介しました。これからも様々な瞬間に立ち会うことになります。ひとつひとつを宝物のように、今後もご紹介いたします。

## 平成25年 トピックス

- 3月 神奈川県立子ども医療センターにてウォールペイント。
- 4月 日赤医療センター附属乳児院、京大病院での活動を開始。
- 4月 アースデイ 2014 参加
- 5月 宮城県立子ども病院にて活動を開始。
- 6月 米国商工会議所イベントにて SHJ 紹介。商工会議所の支援決定
- 6月 Boston Scientific Japan の支援決定（内容未定）。
- 7月 FIAT BIRTHDAY FESTA 参加
- 7月 アーティスト交流会 (FIAT CAFFEにて)
- 7月 日本歯科医師会と日本財団による Tooth Fairy Project からの支援決定。 <http://tooth-fairy.jp>

## パンフレットリニューアル！

活動内容、活動場所、アーティストの増加に伴い、デザインを一新しました。

## 英語パンフレット作成

外資企業からの問い合わせに対応するため、作成しました。

必要な方がいらっしゃいましたら送付いたします。ご連絡ください。

## 数字で見る SHJ 平成26年7月現在

活動病院数 5 活動病棟数 21  
登録アーティスト 34  
手続き中アーティスト 1  
正会員 14 サポート会員 55  
寄付件数（個人 企業含め）63  
助成獲得件数 5（応募 8 回のうち）

## 協賛企業・団体（実績）

Fiat Chrysler Japan 沖ワークウェル  
ドナルド・マクドナルド・ハウス財団  
全労済 公益財団法人「あゆみの箱」  
公益財団法人公益推進協会 桃源堂  
J.P. モルガン Fusion System Japan  
InterSearch Japan 帽子の写真屋さん  
ACGJ 米国商工会議所 ケーアンドエイチ  
日本財団 日本歯科医師会 gooddo

## 書籍紹介

「春ちゃんは元気です」 文・絵 松田のぶお 発行：文芸社

実話をもとにした、4歳で白血病と闘い抜いた少女の物語。

頑張っている子どもたちとご家族の励みなるように、とHPを通してSHJを知った春ちゃんのお父様である著者が寄付していただきました。

全国には難病と闘う子どもが20万人以上いると言われていています。しかし、SHJを通して難病で苦しむ子どもの存在を知った、という方が多いように、現状を知らない人が多いのが実情。辛い体験を振り返りながら作成されたこの本を通して、病児の壮絶な日常をどうか知ってください。幼い子どもが重たい病を背負うことの理不尽さと子どもの強さを通して大切な何かをつかんでください。そしてまわりの人に伝えてください。注文を受付けます。

今号は活動報告を中心に作成しました。次回は平成25年度決算（決算日9月30日）も合わせてご報告いたします。平成24年度の収支報告、活動報告はHPにて公開していますのでご覧ください。

新しいパンフレットを同封いたしました。お知り合いにSHJをご紹介いただければ幸いです。

引き続き皆様からのご支援を大切に、入院中の子ども達に寄り添い、発展できるよう、地道な活動を積み重ねながら運営して参ります。公益性と情報公開を大切に透明性のあるNPOとして取り組んで参ります。今後もご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。住所等連絡先が変更になった場合はお知らせください 文責：松本



Smiling Hospital Japan

スマイリングホスピタルジャパンは入院中の子どもたちに本物のアートを届けます。



News Letter Vol.2

2014. 7. 15 第2号

発行：東京都杉並区高井戸東 3-3-15-308 「スマイリングホスピタルジャパン事務局」

Tel/Fax: 03-6765-6883 E-mail: [info@smilinghpj.org](mailto:info@smilinghpj.org) HP: <http://www.smilinghpj.org>

## "Happiness Helps Healing"

「楽しむことは快復を助ける」の理念のもと、活動を開始して3年目を迎えました。入院中の子どもたちに楽しく豊かな時間を届けているスマイリングホスピタルジャパンの活動レポート、第2号をお届けします。

1. ごあいさつ
2. 3月実施のウォールペイント報告
3. 地区コーディネーター紹介・活動風景紹介&エピソード
4. 団体近況アップデート
5. 書籍紹介



## ごあいさつ

日頃より、スマイリングホスピタルジャパンの活動を支えてくださり、ありがとうございます。

お陰さまで、神奈川県立子ども医療センター、日赤医療センターに加え、4月に京都大学医学部附属病院および日赤医療センター附属乳児院、5月に宮城県立子ども病院、6月に大阪市立総合医療センターでの活動を開始することができました。

現在、石巻赤十字病院での開始に向けて現地スタッフが準備中です。さらに2つの病院が導入を検討中です。

3月に前号にてお知らせしていたウォールペイントを実施、また、病院バザーにて絵本画家の挿絵を絵葉書のデザインとして提供したり、ポップアップカードづくりワークショップを出展したりしました。病院主催の退院後在宅療養児と家族の会に呼んでいただき、音楽会も行いました。7月には、重症心身障害児施設でご家族を交えた夏祭りイベントでの朗読劇も予定しています。

病院との信頼関係を築いてきたことで、活動の幅も広がり、入院を余儀なくされている子どもたちや在宅児の生活環境向上へ、より貢献できるようになって参りました。ひとえにSHJを温かく見守り支援して下さるみなさまのお陰と、大変感謝いたします。

平成24年5月に活動を開始してからの広がりや、SHJの活動が認知され必要とされてきていることの表れと言えます。地域に根ざし、それぞれの地域との連携のもと、より安全に着実に闘病中の子どもたちとご家族を支援していく必要があります。

そのために、4月の活動地域拡大に伴い、各地での病院との連絡、アーティストと活動のコーディネーター、活動報告などの業務を円滑に行なうため、各地区コーディネーターを配置することとしました。以下にご紹介いたします。

各地域ではSHJの主旨に賛同するさまざまな分野のアーティストが少しずつ増えています。地区コーディネーターを中心に、病院と適切に連携しながら活発に活動しています。各地区の活動の様子も今号にてご紹介いたします。

今後もみなさまからのご支援、ご期待に応えるべく、スタッフ一同努力してまいります。

引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

代表理事 松本 恵里

## 真っ白な壁がポップに大変身！

子ども病院をもっと明るく少しでも楽しい場所にしたい！という願いが、神奈川小児医療基金の協力により、実現しました。

3月23日、神奈川県立子ども医療センター理学療法室前の待合廊下は、イラストレーターの真鍋麻里さんのポップで明るいイラストにより、ワクワク楽しい空間に生まれ変わりました。



病院が明るくなった！と子どもたちやご家族、そして医療スタッフに大変喜ばれています。病院じゅうをこんなふうに変身させられたら…。子どもたちの笑顔に胸に、SHJアーティスト、ますます張り切っています！

**地区コーディネーター紹介**

東京・神奈川、北海道、関西、仙台、石巻を担当するコーディネーターを配置しました。そのうち、今号では代表コーディネーターと北海道、関西の地区コーディネーターをご紹介します。



三原典子:代表コーディネーター

10年程前から宮城こども病院にて、打楽器を使って「ドラムサークル〜リズムであそぼ!〜」と称したイベント活動、院内学校での活動をさせて頂いた経緯より、スマイリングホスピタルジャンプのアーティストとして活動に参加させて頂いています。辛い治療からのストレスを取り除けるように、そして癒しの時間と明るく前向きな闘病意欲を持ち続けられるように楽しい活動を提供していきたいと思っております。音楽で繋がった友人、仲間が日本各地にいてくださることから、このネットワークを大切にコーディネーターとして各地を開拓していきます。スマイリングホスピタルジャンプの活動が、日本中で出来ることを願っています。



米澤倫子:北海道地区コーディネーター

北海道・札幌在住の米澤です。音楽教室の講師をしながら、打楽器を使ったリズムイベント「ドラムサークル」や子供向けのコンサートなどを行っています。北海道内の活動はこれからになりますが、たくさんの子供たちにいろいろな体験を通して笑顔を届けられるように頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



田久朋寛:関西地区コーディネーター

関西地区コーディネーターをさせて頂きたくて田久と申します。普段は大道芸人「たつきゅうさん」として活動しております。入院中の子供たちにも見せてあげられないかと考えていたところ、SHJのメンバーとして加えていただくことになりました。SHJの理念を関西にも広げていけるよう精進したいと思います。

\* SHJの活動に深い理解と共感を持ってアーティスト並びに地区コーディネーターを申し出てくださった方たちです。地区同士が共通認識をもちながら連携し、病児を支えます。次号では仙台地区、石巻地区コーディネーターの声をお届けします。

**活動風景を紹介します!**

活動の風景をお届けします。病棟へは基本にご両親しか入ることができません。支えてくださっているサポーターのみなさんに支援の現場を見ていただくことができないのはとても残念です。ニュースレターで毎回、写真にてその様子の一部やアーティストをご紹介いたします。

**活動場所と活動日**

神奈川県立こども医療センター	毎週水曜日・内科系長期入院病棟 毎週金曜日・外科系、救急、骨髄移植、化学療法、精神科、肢体不自由児施設、重症心身障害児施設を順番に1病棟ずつ
日赤医療センター	毎週月曜日・小児科病棟
日赤医療センター附属乳児院	毎月第三月曜日
京都大学医学部附属病院	毎月第三水曜日
宮城県立こども病院	毎月第三月曜日
京大阪市立総合医療センター	現在は不定期毎月1回



たつきゅうさんの大道芸  
4月16日 京都大学病院小児病棟にて



水野ぷりんさんのお絵描き  
5月7日 神奈川県立こども医療センター内科病棟にて

山本まりんさんのオカリナとケーナ演奏  
5月19日 宮城県立こども病院にて



室菰久美さんのクラフトワークショップ  
5月16日 神奈川県立こども医療センター  
児童思春期精神科病棟にて



大道芸人よーへーさんのマジック  
6月4日 神奈川県立こども医療センター内科系病棟にて



もっきんぼっとの朗読劇  
5月23日 神奈川県立こども医療センター  
外科系幼児学童病棟にて



フルーツ バイオリン ピアノセッション  
6月4日 神奈川県立こども医療センター内科系病棟にて

NIKONIKO 大使ガイさんの  
バルーンアート&ジャグリング  
5月19日 日赤医療センター  
小児病棟にて



西純江さんのリズムあそび  
5月21日 京都大学病院  
小児科病棟にて



坂本和美的さんの似顔絵会  
5月28日 神奈川県立こども医療  
センター内科系病棟にて



真理さんのなんでもリクエスト  
6月16日 日赤医療センター附属乳児院にて



たつきゅうさんの大道芸  
6月24日 大阪市立総合医療センターにて